

海況速報

平成 26 年度 第 5 号 (通算 No.161)
平成 26 年 12 月 22 日
北海道立総合研究機構 水産研究本部



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境グループ
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@hro.or.jp

11 月中旬～12 月中旬の海況

☆日本海海域

積丹半島の西方沖に暖水渦 (指標: 100m 層水温 9°C 以上) があります。対馬暖流 (指標: 100m 層水温 6°C 以上) は、北海道の西岸沿いと暖水渦の西方を通り沖合を流れる 2 つの流路に分かれて北上しています。

対馬暖流の流量は例年の約 1.2 倍になっています。

水温は、表面のほぼ全海域で例年よりも低くなっています (水温偏差表参照)。また、暖水渦の分布する海域の 100m 以深では、水温は例年よりも 2°C 高くなっています (水温偏差表参照)。

余市における旬平均水温は、10 月中旬では「かなり低い」でしたが、その後昇温傾向にあり、11 月中旬からは「平年並み」になっています。

☆道東太平洋海域

道東海域を親潮 (指標: 100m 層水温 5°C 以下) が広く覆っています。今回の観測では、黒潮系北上暖水の道東方面への張り出しはみられませんでした。

水温は、全体的に例年よりも低めですが、親潮が沖合へ広がっているため、北緯 42 度以南では例年よりも約 2~3°C 低い海域がみられます (水温偏差表参照)。

☆道南太平洋海域

津軽暖流 (指標: 100m 層水温 10°C 以上) は渦モード (*1) です。

水温は、ほぼ例年並みですが、津軽海峡東口では例年よりも 2°C 高い海域がみられます (水温偏差表参照)。

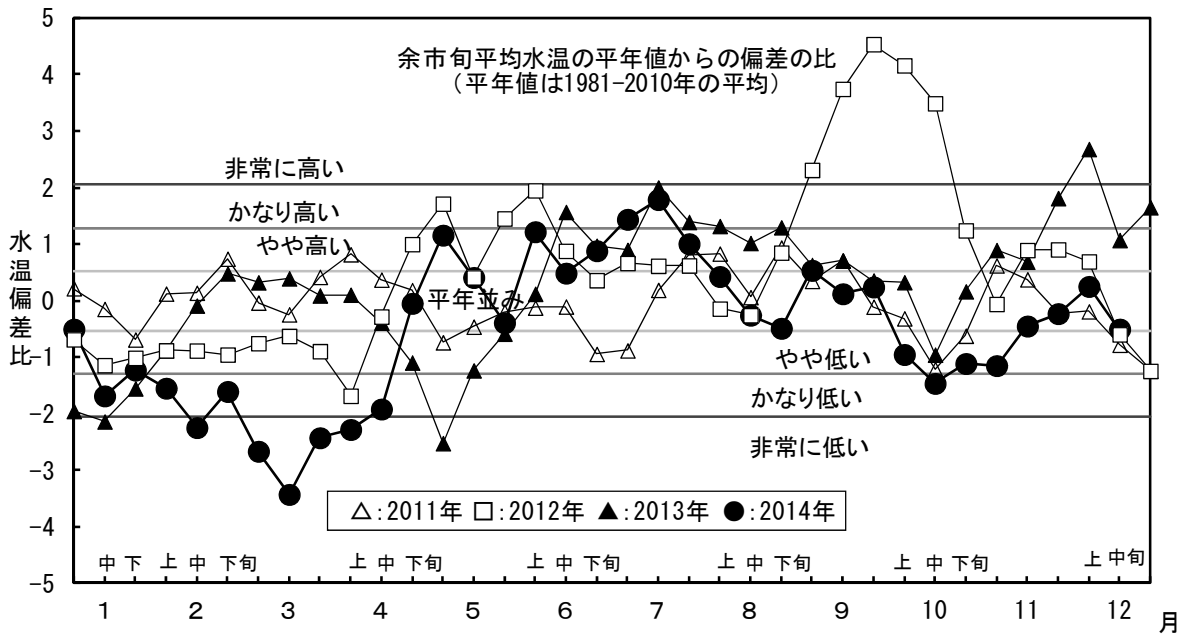
☆オホーツク海海域

宗谷暖流 (指標: 50m 層水温 7°C 以上) はオホーツク沿岸を潜流となり流れています。また、紋別沖では宗谷暖流の幅が広がっています。

表面水温は、例年よりも 2~3°C 高い海域が広がっています (水温偏差表参照)。また、宗谷暖流の幅が広がる紋別沖では、水温が例年よりも 2~5°C 高い海域がみられます (水温偏差表参照)。

資料	観測期間	観測海域
稚内水試 (北洋丸)	2014/12/4-12/9	(道西道北日本海海域)
稚内水試 (北洋丸)	2014/11/25-11/27	(オホーツク海海域)
釧路水試 (北辰丸)	2014/12/4-12/10	(道東道南太平洋海域)
函館水試 (金星丸)	2014/12/9-12/15	(道西道南日本海海域)
函館水試 (金星丸)	2014/11/18-11/23	(道南太平洋海域)

* 1 : 津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋崎からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



「海況速報」は中央水産試験場ホームページに掲載しております。

また、同サイトにて余市前浜水温がご覧になれます。

<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/section/kankyousuion/tkh4vd0000002n7a.html>

余市前浜水温の携帯サイトはこちらから

<http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/central/kaiyou/keitai/KSSTy.html>

右に QR コードがあります。



